

	タイトル	サブタイトル	内容
46回 22・8・26 (木) 木原 陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐火間仕切で防火区画を学ぶ</li> </ul> 講師 チョダウーテ様	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐火間仕切の種類や防火区画の基本を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類と耐火時間</li> <li>法規上必要な知識</li> <li>最近多く使用されるPB12.5+12.5両面張り</li> </ul>

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	耐火間仕切とデッキプレートとの取合部の話です。凸凹のデッキプレートの場合は隙間ふさぎの項目を拾いますがT字型に突き出るフラットデッキの場合ほどのように隙間の処理をしているのか教えてください。	フラットデッキの場合は、リブが空洞になっているので、耐火上欠損（火が伝搬する）になる為、T字部分をあらかじめ、切除するようお願いしています。
2	種類と耐火時間をご教示ください。	非耐力壁の耐火構造は全て1時間。その他、準耐火構造は1時間と45分があります。
3	最近多く使用される耐火間仕切のメリット・デメリットをご教示ください。	両面硬質PB+強化PB、両面強化PB12.5mm×2、片面強化PB21mm×2。メリットデメリットは勉強会で説明した通りです。
4	設計価格帯をご教示ください。	各耐火間仕切壁の設計価格は配布した設計価格表参照。四周処理は1000～1650円/m（遮音性能の要求によって異なります。）
5	間仕切⇔間仕切のジョイントの施工方法をご教示ください。	異種耐火壁の場合は片方先行し、もう一方を当てる、但し端部スタッドは先行壁に取付をしない。同仕様の耐火壁の場合は面材を交互に張っていきます。
6	他部取合面のジョイントシールの施工方法をご教示ください。	他部取合部で隙間が大きい時はGコーク（現場で水と混練するタイプ）を使用します。隙間が小さい場合は通常の四周処理を行います。